

今月号の目次

教育シンポジウム開催報告・・・2P
現地訪問報告会のお知らせ……………3P
12月定例会のお知らせ……………4P
長崎の「母子保健センターを支援する会」
の交流会に行ってきました……………4P
地球市民どんたくの参加報告……………5P
ボランティア入門セミナーのご案内…5P
会計報告：教育キャンペーン中間報告
チャリティバザーの報告……………6P
古賀みなみのアメリカNPO体験記…7P
今後の予定……………8P

1999. 11. 1 No. 79

バングラデシュと 手をつなぐ会

クイズもある

楽しい報告会にどうぞ

十一月三日(文化の日)福岡市「あいれふ」で「手をつなぐ会」の帰国報告会をいたします。

午前中はクイズ、ベンガル語講座、スライド映写など楽しい催し^{もよう}。午後からは楽しい報告会。

どうぞはじめてのかた、ご近所のかたもさそって

おいで下さい。

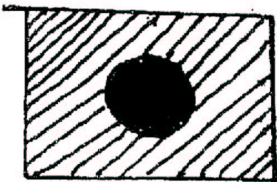
くわしくは3ページを

ごらん下さい。

教育キャンペーンの

募金もよろしく!

বিশ্ব ঐক্য
(ベンガル文字)



バングラデシュの
国旗。緑の大地
に、赤い丸は独立
戦争で流された
血の色です。

(大木松子)

9月定例会報告

シンポジウム **教育を考える** —バングラデシュから日本へ—

共催：地球共育の会

9月12日（日）10:30～12:30／13:00～16:30 あいれふ8F 大研修室にて

9月定例会では、初の試みである教育シンポジウムを行いました。「手をつなぐ会」が活動を通して考えてきた「教育」の意味を、教育関係者、行政、保護者などいろいろな立場の方々に投げかけ、一緒に話し合ってみようという企画でした。

午前 「一枚の写真から」(地球共育の会)

これから学校現場で始まる「総合学習」のヒントとして、「フォト・ランゲージ」という開発教育の手法を紹介していただきました。バングラの写真をじっくりと眺め、気づいたことを出し合っていきます。バングラへの関心を引き出す第1歩として、面白い方法でした。

午後 シンポジウム「教育を考える —バングラデシュから日本へ—」

パネリスト：山下 亜樹（JICA 国際協力推進員、地球共育の会）／植松 伸之（福岡県教育委員会 福岡教育事務所）／古賀 南（九州大学大学院、手をつなぐ会）

コーディネーター：二ノ坂 保喜（手をつなぐ会）

バングラデシュおよび日本の教育問題について、さらに「教育」そのものについて、パネリストそれぞれの立場から意見を交換し合いました。後半には会場も交え、口調は穏やかでも中身は熱い！議論が続きました。期待以上に充実した内容だったと思います。参加者数が少なかったのが残念でしたが、お越しくくださった皆さんの関心度はとても高く、シンポ後のアンケートにも意見がぎっしりでした。以下は、その一部です。

「ディベートの活発さ、平和教育での真剣な眼差しなど、バングラの子どもの良さや可能性がたくさんあるのだと思いました。日本の識字率、教育水準の高さも、これから保っていくべき良さだと思います。ただ、日本がバングラから学ぶ点も多く、これからも両国の教育について考え、改善していく必要があると思いました」

「教育の原点はバングラの方にあるのではないかと思う。今の日本の教育は、その原点から離れ過ぎた所にあるのではないかと思う」

「『協力したい』と心から考え、行動できる子どもを育てていきたい。そのために自分達が国際協力について深く知り、理解しなくては」

「教育の場を学校に限定せず、家庭における教育・地域へのつながりにも拡大していけたらと思いました」「他の国の問題は私たちの問題であると強く感じました。今日家に帰って、識字率の問題などを話し合いたいと思います」

「教育」は、手をつなぐ会でも引き続き考えていくべき問題だと思います。来年度も、教育を考えるイベントを企画したいと考えています。



報告：古賀 南（9月定例会担当）

現地訪問報告会のお知らせ

毎年恒例の現地訪問報告会を、11月3日、文化の日に行います。

今年は、バングラデシュにちなんだ **〇×クイズ** を行います。みなさん、どのくらいバングラデシュのことを知っていらっしゃいますか？簡単な問題から用意していますので、クイズを楽しみながら、ぜひ知識を深めてみてください。

また、ラフマンさんから、ちょっとした **ベンガル語教室** を開いてもらいます。もちろん、入門編です。バングラデシュの話をする「バングラデシュって、どんな言葉話すの？」とよく人に聞かれます。カラムディ村で彼らが話す言葉を少しだけ勉強してみませんか？楽しいですよ！

午後からは、**スライドの上映や報告** を行います。

カラムディ村との交流は、今年で12年目に入りましたが、村では今、どのような課題が残されているのでしょうか。そして、それらの解決のためにはどうしたらよいのでしょうか。今年は、村人や運営委員の人々とたくさんのお話し合いをしてきました。ご一緒に村のことを考えてみませんか。

現地訪問報告会スケジュール

| | | |
|----------|-------|------------------------------------|
| 11月3日(祝) | 10:30 | 開場 |
| | 11:00 | クイズで知ろう！バングラデシュ ベンガル語教室 スライド |
| | 12:30 | 午前の部終了 |
| ~~~~~ | | |
| | 13:00 | 午後の部受け付け |
| | 13:30 | 現地訪問報告 質疑 |
| | 16:30 | 終了 |

会場 : あいれふ 10階 講堂

ぜひ、みなさんご参加ください

いのちを考える講演会

「いのちとどう向き合うか？」

～生と死、バングラデシュとホスピス～

講師：ニノ坂 保喜（にのさかクリニック院長、バングラデシュ
と手をつなぐ会副代表）

とき◇12月4日（土） 14：00～16：00

ところ◇ふくふくプラザ 5階 視聴覚室

（福岡市中央区荒戸3-3-39 ☎(092)-731-2929）

参加費◇500円

- バングラデシュと手をつなぐ会副代表のニノ坂が、カラムディ村での医療協力活動を通して見てきたバングラデシュのいのちの姿。そして、日本で在宅ホスピスケアに取り組む中で見えてくる日本のいのちの姿。それらに私たちがどう向き合うのか。共に考えてみたいと思います。

たくさんのご参加お待ちしております。

バザーを翌日に控えた10月2日、慌ただしくバザーの準備を済ませて長崎に向かいました。「バングラデシュの母子保健センターを支援する会」は、ニノ坂さんの故郷である長崎市を中心に活動をされ、運営委員の方々もニノ坂さんの小学校から高校までの、どこかでご縁のあった方ばかりでした。

この会は名称通り、カラムディ村の母子保健センターを支援する事を目的として結成され、本年度は120万円という資金援助を、当会を通して現地へ送金してくださっています。

長崎の皆さんは、ニノ坂さんの報告を聞くために集まって来られたのですが、自家用車で長崎に向かっていたニノ坂さんは、途中でエンジンから煙が出るというトラブルのため2時間遅れで会場に到着、というアクシデントが起きました。その後、待ちに待った報告会も無事に終え、参加者の方々と盛りだくさんのお話をする事ができました。

長崎の皆さん、またお会いしましょう。

（宇治松枝）

長崎の「バングラデシュの母子保健センターを支援する会」と交流してきました。

☆☆ 地球市民どんたくの報告 ☆☆

去る10月9・10日、ソラリアプラザ1Fにて、「地球市民どんたく」が行われました。

福岡県内にあるNGO団体のうち26団体が活動紹介を行ったり、アフリカや南米の音楽がステージであつたりと盛り上がった2日間でした。

お手伝いをしてくださった方、遊びにきてくださった方、本当にありがとうございました。

今回は行政とNGOの合同イベントでしたが、またいろんなところでいろんな活動を考えていま。皆さんチェックして遊びにきてくださいね。

(達富 三佳)

ボランティア入門セミナー「国際協力のすすめ—NGOは今」

最近、国際協力へのNGO活動が盛んになり、参加を希望する人や関心を持つ人が増えてきました。そのような人のために、実際NGO活動にかかわっている方たちの経験から、ともに学びあう講座を開催します。NGO福岡ネットワークが企画し、県国際交流センターの全面協力で実現しました。どうぞご参加を。

1) 11月10日(水)「国際ボランティアのいろいろ」

二ノ坂保喜、角正信 (NGO福岡ネットワーク)

2) 11月17日(水) 主婦、学生、会社員にとっての国際ボランティア

原田君子、高橋かおり、ほか

3) 11月24日(水) アメリカ、アジアでのNGO体験記

古賀南(手をつなぐ会)・伊東弘(海外協力センター・福岡)・西嶋克司(明日のカンボジアを考える会)

4) 12月1日(水) 何から始められるの?

吉野あかね、山下亜樹(地球共育の会・ふくおか)

会場：アクロス福岡3F こくさいひろば

参加費：無料/定員：40名(定員になり次第締切)

申込方法：電話、FAXで下記まで

福岡県国際交流センター(アクロス福岡内)

092-725-9203(平日) 092-725-9200(土・日・祝日)

会 計 報 告

<募金協力者（敬称略）>

- ・ 富田桂子・野芥商工連盟会・福本トミ子・宮川珠子・石田靖男・外池博子・加茂節・関根悠紀子
- ・ 巽教会：李炳よう・古金博子・中島美香・松下竜一・柿木千鶴子・貫橋宣夫・永井たか子・桜庭歌子
- ・ 川西薫・高橋美沙子・井上稲子・境孝子・石村基代・吉川八重子・古川博・竹尾きよみ・大浦エミ子
- ・ 浄水通カトリック教会：ノエミの会・原田妙子・高橋茂・山崎清子

<旅費カンパ協力者（敬称略）>

- ・ 高橋美沙子・瀧本康子・松成壽子・松岡励子

教育募金キャンペーン中間報告 < 110,435円 >

前回のミロンで、教育募金キャンペーンの趣旨をお伝えし、皆さまに募金を呼びかけております。早速のご送金、有り難うございます。少しでも多くの子どもたちに、教科書や書物などが行き渡りますように、キャンペーン実施中です。これからもご協力をお願いします。

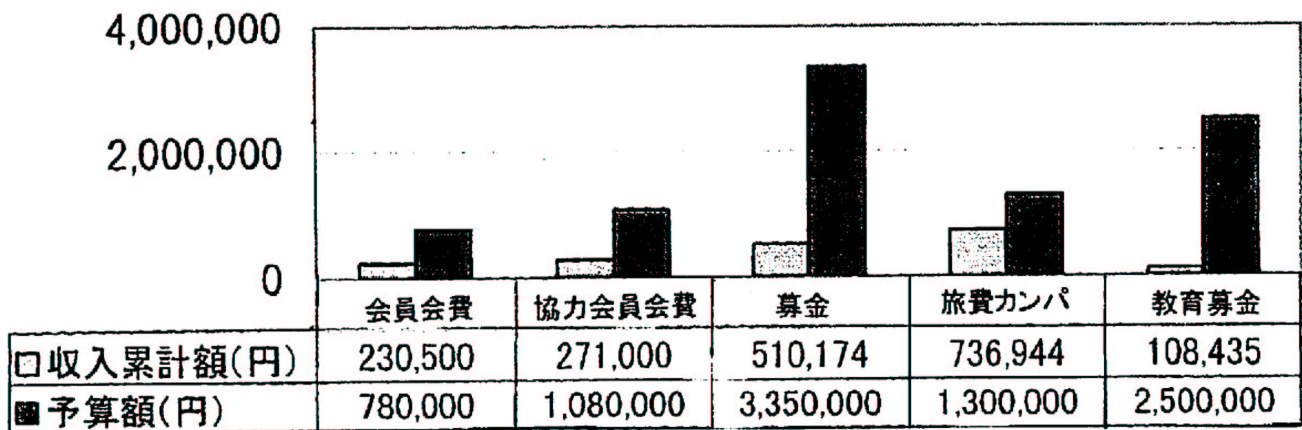
<教育募金協力者（敬称略）>

- ・ 安永好子・衛藤達雄・教育シンポジウム参加者・北島弥太郎・竹田照・田代修通・田代美幸
- ・ 宮崎安子・戸早医院：戸早雅弘・村里やよい・山路英子・吉住広美・松隈則子・松村祐二郎
- ・ 緑川医院：緑川啓一・松井岩美・君塚節子

以上、10月18日現在

みなさま、どうも有難うございました！

収入累計と予算(10月18日現在)



バザー報告

10月3日、西新商店街の「いつもの」場所にて、バザーを行いました。当日は、晴天のお天気に恵まれ、通りかかった多くの人たちが足を止めてくださいました。

みなさまからご寄付をいただきました販売品の収益は、**91,554円**でした。ご協力有り難うございました。

また、教育シンポジウム・NGO どんたくで募りました、トルコ及び台湾への災害救済募金は**4,113円**でした。これは、「福岡YMCA」を通して送金します。

皆さまのご支援に、心より感謝を申し上げます。

(岩切篤子)

アメリカの NPO でインターンしました。—JUCEE インターンシップ参加報告—

インターン日記 : <http://www.dan-net.or.jp/~ninozaka/bangladash-top.htm> (会 HP)

7月16日～8月19日の約1ヶ月、アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコ市周辺地域にて、NPOインターンシッププログラムに参加しました。「手をつなぐ会」の活動・運営を、少し違う角度から、冷静に考えてみたい…と思っていたからです。ちょうど現地訪問期に重なってしまったのですが、わがままと行って行かせて頂きました。

参加したプログラムは、日米コミュニティ・エクステンジ (JUCEE) という団体が主催するもので、①NPO関係者向けのトレーニング (インターン前後の計1週間) ②特定のNPOでインターン* (3週間)、という2本立てになっています。①ではNPOの基礎知識と職場英会話をしっかり勉強しました。②では、実際にあるNPO事務所に入り、雑用をしたり会議に出たりしながら、事業の進め方や運営ノウハウを学びました。



私が入ったNPOは、インターナショナル・チャイルド・リソース・インスティテュート (ICRI) という団体でした。国内外のチャイルドケアセンター (日本でいえば保育所や託児所) の建設・運営に対し、専門家として調査やアドバイスをするのが主な仕事です。「手をつなぐ会」とは少し異なる活動分野ですが、いくつもの海外事業の実績を持っています。

ICRIの事業の進め方は、「手をつなぐ会」の運営を考える上でとても参考になりました。あくまでも現地を中心に考える姿勢などは、私たちと共通です。しかし違うのは、「理事会」が事務局の動きを監督し、お金の責任も負っている点です。実際に動く人たちは、別の人たちが見張っているのです。こうすると、いかげんな計画は通りませんし、事務局も明確な報告をせざるを得なくなります。もう一つ、違うなど感じたのは、全ての面で「文書化」がきっちりなされている点です。アメリカチックだな…と思われるかもしれませんが、たくさんのスタッフが考えを共有したり、言葉や文化の違うパートナーと一緒に仕事をしたりするためには、とても大切かつ必要なことだと思います。一方で、パートナーとの信頼関係を崩さないよう、言葉など「気配り」の部分にも注意しているようでした。

このプログラム全体を通じて強烈に感じたのは、NPO活動において一番重要なのは、その団体に関わる人すべてが一つの「方向」を共有できているか? という点だ、ということです。「手をつなぐ会」について言うならば、会員の皆さん、運営委員、そしてションダニが、「理想のカラムディ村の姿」を共有していなければいけない、ということでしょう。抽象的なようですが、実はこれが活動の「軸」なのだと思います。

サンフランシスコ周辺 (ベイエリアと言います) は、アメリカの中でも最もNPO活動が盛んな地と言われます。確かに、NPO活動が普通の生活にしっかりと根付いていますし、団体規模も日本とは比べ物になりません。行政や企業などともうまく協力し合い、地域社会での役割分担が進んでいました。アメリカと全く同じではないでしょうが、日本のNPOもこれからどんどん成長していく (させなければ!) と思います。市民のパワーと、NPOの大きな可能性を感じた1ヶ月でした。

報告: 古賀 南



* 「インターン」とは何? と疑問に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、通常、企業などでいうインターンシップとは、学生などが短期間 (といっても期間は様々) の職場体験をすることです。無償が多いですが、給与が出ることもあるようです。今回のインターンシップは、「職場体験」というよりも、「職場訪問」に近かったのかも (言葉の問題があり、大した仕事ができないので)。もちろん無償でした。

お 知 ら せ と お 願 い

11月～1月の行事予定

*変更される場合があります。ご確認ください。

| 月 日 | 時 間 | 内 容 | 場 所 |
|----------------|-------------|--|--------------------|
| 11月3日(祝) | 11:00-12:30 | クイズで知ろう!バングラデシュ!! | あいれふ 10階 講堂 |
| | 13:30-16:00 | '99 現地訪問報告会 ★会員の皆様、ぜひ参加を!★ | |
| 11月11日(木) | 19:00~ | 事務局会議 | にのさかクリニック |
| 11月18日(木) | 19:00~ | 運営委員会 | 西新事務所 |
| 12月2日(木) | 19:00~ | 事務局会議 | にのさかクリニック |
| 12月4日(土) | 14:00-16:00 | 講演会 <u>いのちとどう向き合うか?</u> ~生と死、バングラデシュと ホスピス~ ★多数のご参加をお待ちしています★ | ふくふくプラザ 5階 視聴覚室 |
| 12月16日(木) | 19:00~ | 運営委員会 | 西新事務所 |
| 12月23日~ 30日 | | '99 スタディーツアー | バングラデシュ カラムディ村 |
| 2000年 | | | |
| 1月6日(木) | 19:00~ | 事務局会議 | にのさかクリニック |
| 1月13日(木) | 13:00~ | ミロン発送作業 ★ボランティア大募集!★ | 西新事務所 |
| 1月20日(木) | 19:00~ | 運営委員会 | 西新事務所 |

◆年に一度の「現地訪問報告会」、1999年最後の定例会「講演会・いのちとどう向き合うか?」などなど、見逃せないイベントがありますよ!!

皆さん、ぜひご参加ください。お待ちしております。

◆また、ボランティアスタッフ大募集中です。

お気軽に下記までご連絡ください。

バングラデシュと手をつなぐ会

代表 大木松子

☎814-0002 福岡市早良区西新5-4-20 ☎&FAX (092)-844-1369

郵便振込番号 01720-2-10442

加入者名 バングラデシュと手をつなぐ会